

くらし潤いかがやく

Living life that shines richly

SHIMIZU TOWN

清水町 町制施行60周年記念町勢要覧

Shimizu Town 60th Anniversary Commemorative Informational Guide

くらし潤いかがやく

清水町

まちを流れる清流は大地を潤し、
いのちを育み続けてきました。
水面にはきらきらとかがやくまちの未来と
人々の笑顔が映し出されています。



Shimizu Town:
Living life that shines richly

The clear stream that flows through the town has enriched the land and nurtured our lives. On the surface of the water is a reflection of the town's bright future and the smiling faces of its residents.

目次

4 ABOUT清水町

6 ぐらしやすさの源湧き出る水物語
8 環境 10ぐらし・文化

12 第5次清水町総合計画

16 年表 清水町60年のあゆみ

18 歴史・文化財 流れる時を此処に刻む



Contents

- 4 About Shimizu Town
- 6 The Source of Our Livability: A Tale of Spring Water
- 8 Environment
- 10 Living & Culture
- 12 5th Shimizu Town Comprehensive Plan
- 16 Chronology: 60 Years of Shimizu Town
- 18 History and Cultural Heritage: Imprints of the Flow of Time

清水町の概要

静岡県の東部に位置しています。北部を国道1号が通り、東名高速道路やJR東海道線にもアクセスのよい立地です。気候は温暖で緑豊かな清流のまちです。

ABOUT 清水町

面積

Area

8.81 km²

(東西2.7km/南北4.5km)
2.7km west-to-east / 4.5km north-to-south

出典: 国土地理院
「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」

人口・世帯数

Population & No. of households



31,833 人



14,507 世帯

出典: 住民基本台帳 令和5年9月1日現在

みんなが住みやすいまち、清水町。その「くらしやすさ」の源流をデータとマップで紹介します。



気温

Temperatures

Average

平均 17.9 °C

(最高38.0°C 最低-3.5°C)
High: 38.0°C / Low: -3.5°C

出典: 駿東伊豆消防組合「消防年報」 令和4年

20~30代の転入が多い

転入人口

New resident population

県内 1 位

No. 1 in Shizuoka Prefecture

(県内他市町からの転入の割合)

Percentage of new residents moving in from other municipalities in the prefecture

出典: 令和2年国勢調査 市町別転入人口の区分別割合

住民アンケート

「くらしやすい」

Residents who responded in a survey that Shimizu is "easy to live in"

8 割以上

More than 80%

出典: 令和3年度 ふれあいアンケート

充実した子育て環境

保育施設・教育機関



Child Care Facilities, Kindergartens, Elementary Schools, Junior High Schools

【保育施設】
幼稚園

12 園

【小学校】

3 校

【中学校】

2 校

出典: 令和4年度 学校基本調査/清水町子育てのわきみずガイドブック『わtoわ』

街の住みこち

ランキング(静岡県版)

Livability ranking
(Shizuoka Prefecture Edition)

県内 2 位

No. 2 in Shizuoka Prefecture

出典: いい部屋ネット
「街の住みこちランキング2023<静岡県版>」

柿田川平均湧水量

Kakita River average water yield amount

130 万m³/日

1,300,000 m³/day

出典: 国土交通省 柿田川湧水年平均日量 令和4年3月31日現在

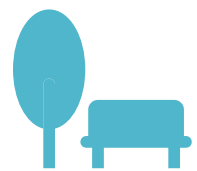


公園面積

Park area

25.23 ha

出典: 清水町統計書 令和3年版 令和3年3月31日現在



町章
Town Emblem



町の木「しい」
Town tree: Chinquapin



町の花「さく」
Town flower: Chrysanthemum



町の鳥「かわせみ」
Town bird: Kingfisher



イメージキャラクター
「ゆうすいくん」
Shimizu's mascot, Yusui-kun

About Shimizu Town

Shimizu is a place where everyone can live with ease.
The reasons that Shimizu has such livability are detailed here in these data and maps.



清水町役場
Shimizu Town Office



まほろば館
Mahorobakan



子育て総合支援センター
Child-Raising Total Support Center



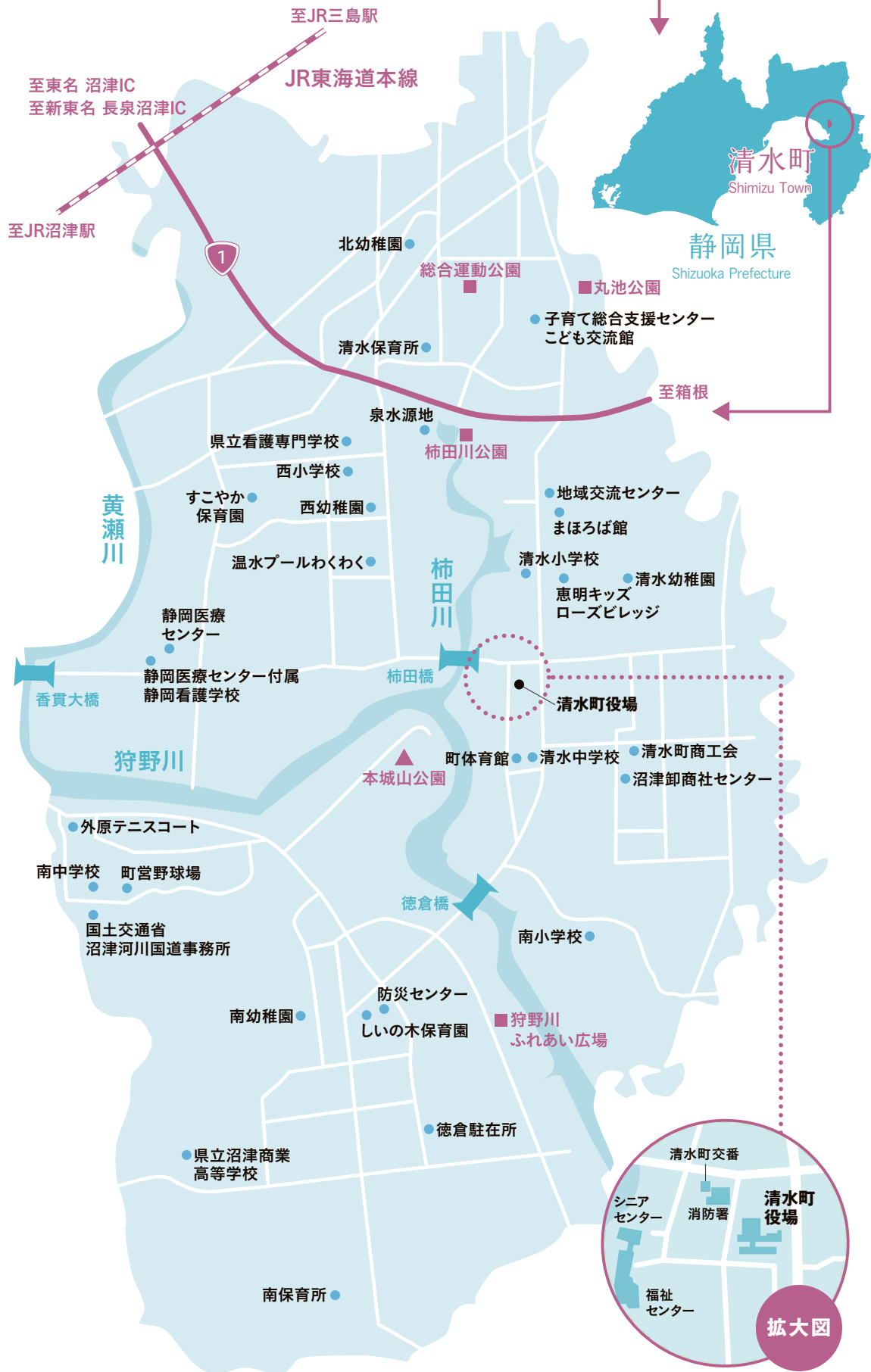
地域交流センター
Community Exchange Center



柿田川公園
Kakita River Park



丸池公園
Maru Pond Park



湧き出る 水物話

くらしやすさの源^{ルーツ}

The Source of Our Livability: A Tale of Spring Water

The Kakita River, Which Brings Our Town to Life

Water gushing from the riverbed of the Kakita River causes the sand to swirl about, and the Mishima Baikamo, an aquatic plant that is also a Natural Treasure, sways in the river's current. Dozens of springs upstream create a combined flow of approximately 1.3 million tons of water per day.

About 10,000 years ago, the Mishima Lava Flow, which flowed following an eruption of Mt. Fuji, formed a stratum that allows water to pass through easily. The rain and snow that fall on Mt. Fuji and other areas become groundwater, which then emerges from the gaps in the lava flow as spring water. It is said that it takes 26 to 28 years for groundwater to flow up into the Kakita River.

This cool and clear spring water nurtures the history of Shimizu Town, creating a story that leads us to the future.

まちを潤す 柿田川

川床から湧き出す水に砂が舞い踊り、透き通った流れに天然記念物のミシマバйкаモが優しく揺れます。柿田川の上流にある数十カ所の湧き間からは、日量約130万トンの湧水があります。

1万年ほど前、富士山の噴火により流れた溶岩は「三島溶岩流」と呼ばれ、水を通しやすい多孔質の層を形成しました。富士山などに降った雨や雪が地下水となつて流下し、溶岩流の隙間から地表に湧き水となつて現れているのです。地下水が柿田川に湧き出すまでの期間は、26〜28年とも言われています。

悠久の大地に洗われた清涼な水は、今この時も清水町の歴史を育み、未来へつなげる物語をつくっています。

湧き間 (柿田川)
Springs (Kakita River)

三島溶岩流
Mishima Lava Flow

雨や雪解け水
Rain and melted snow

地下水
Groundwater

湧き出る 水物語

環境



アユの遡上

柿田川や丸池、本城山は、地質や地形のなりたちかわかる「ジオサイト」として、貴重な学びの場となっています。

水辺では、桜や紅葉が織りなす風景や、気嵐（けあらし）と呼ばれる神秘的な自然現象など、四季折々の表情を見ることが出来ます。

希少な動植物が息づくことで

も知られ、希少種のホトケドジョウが生息しています。また、毎年たくさんのアユが遡上する光景も目にすることが出来ます。

豊かな自然や貴重な生態系、豊富な水源。身近にある貴重な自然にふれあい、未来へつなぐこと。それは清水町にくらす私たちの大切な役目なのかもしれません。

かがやく水が

織りなす自然



Environment: Nature Woven with Shimmering Water

The Kakita River, Maru Pond, and Mt. Honjo are valuable learning opportunities as geo-sites. The waterfront area offers seasonal changes in scenery, from cherry blossoms to autumn foliage, and fog that forms along the river called kearashi. It is also known as a habitat for rare plants and animals. There is great meaning in connecting our bonds with the rich nature, precious ecosystems, and abundant water sources to the future. This role is very important for all of us who live in Shimizu Town.

Interview 清水小学校6年生 酒村 晴妃さん

Shimizu Elementary School 6th graders Sakamura Haruhi



清水小学校教材園
Study garden at Shimizu Elementary School
清水小学校の西側、柿田川のほとりにあります。天然記念物でもある柿田川の自然に触れられる貴重な場です。

コロナ禍になる前は、休み時間によく教材園で遊んでいました。教材園の水深は浅いので、低学年でも入ることが出来ます。珍しくカブトムシがいたことがあって、クラスのみんなで飼育をしたことが印象に残っています。

また、5年生の時にSDGsに関する授業をしたのですが、川や道にゴミがたくさん落ちていたよね、という意見が一番多くあがっていました。この授業を通して、自分のゴミは持ち帰ってきちんと捨てようと思いましたが、私たちだけではなくて、大人の皆さんも一緒に気をつけてもらいたいなと感じました。

授業や体験を通して、清水町の環境について学んでいます。



登りゆく 水景色

陽光、空気、息づく動植物たち。
刻一刻と変化する
水辺の風景を見つめます。

Photo Gallery: The Changing Water Scenery

Sunlight, air, and the plants and animals that live among them.
Gaze upon the ever-changing waterside landscape.

春

Spring



丸池の散策路からは
桜並木と富士山の絶景を見ることが出来ます。
龍泉寺や本城山公園の桜もまちなちの春を代表する風景です。

Summer

夏

木々の緑と川床が見えるほど透き通った水の流れ、
せせらぎの音も訪れる人の心を癒します。
柿田川公園では清涼な夏の風景を楽しめます。



秋

Autumn

優しい風に揺れるすすきの穂
色づく木々の葉が
水辺の風景を、
さらに美しく彩る季節です。
晩秋の風物詩となっています。



- 1 丸池の桜
Maru Pond and cherry blossoms
- 2 徳倉橋と桜
Tokura Bridge and cherry blossoms
- 3 柿田川公園湧き間
Kakita River Park spring
- 4 狩野川ふれあい広場
Kanogawa Fureai Park
- 5 柿田橋付近
Kakita Bridge vicinity
- 6 気嵐
Kearashi

雪をいただく富士、
柿田川の水面からは
湯気のように霧が立ちのぼります。
冷え込みが強まった
風が穏やかな冬の日に見られる
幻想的な光景です。

冬

Winter



湧き出る 水物語

くらし文化

丸池

Maru Pond

周辺地域に農業用水をかんがいするためにつくられたため池です。三島市の清住緑地に隣接しています。公園として整備され、湧水を水源とするテニスコート約1面分の親水池があります。



子どもたちによる米の収穫

Children harvesting rice

子どもたちが米作りを通して、郷土の豊かな水と自然への関心を高めています。収穫する米は清水町の湧水を使って育てられます。

水と ともにある くらし

湧水まつり

Spring Water Festival

地域や各種団体と力を合わせ、夏まつりを実施しています。郷土への誇りや愛着を高め、地域のにぎわい創出につなげます。フィナーレを飾るのは、大迫力の手筒花火です。



他にもまだある!



うなぎ Eel



ところてん
Tokoroten (gelidium jelly)

稲穂の色が特徴的な濃い紫色。脱穀するとほのかな緑色です。湧水が育んだミネラル豊富なお米です。

麴

Koji mold



Green rice

緑米

温暖な気候で豊かな水源に恵まれた清水町では、江戸時代から麴づくりが営まれてきました。現在でも昔ながらの製法が受け継がれています。

水から はじまる 物語

A story that begins with water



Living & Culture: Life Coexisting with Water

People have lived in the Kakita River area since the Jomon and Yayoi periods thousands of years ago. In the Warring States Period in the 15th and 16th centuries, Izumigashira Castle was built by feudal lord Hojo Ujimasa, and the Kakita River was used as a natural moat to protect the castle.

From the Meiji Era (1868-1912) onward, the development of water pumping technology made it possible to use water from the Kakita River for industrial, domestic, and agricultural purposes. Today, the river is the source of drinking water for the eastern region of Shizuoka Prefecture.



清水町の水道水

Shimizu Town's tap water

清水町の水道水には、名水百選にも選ばれている柿田川の湧水が使用されています。柿田川公園に隣接する湧水の道(民間施設)には水汲み場も設置されており、訪れた方も味わうことができます。

縄文・弥生時代から柿田川周辺では人々が生活してきました。発見された土器片などから先人のくらしの痕跡を見ることが出来ます。戦国時代には、北条氏政により『泉頭城』が築かれ、柿田川は城を守る自然の堀として利用されました。

揚水技術の発達によって川の水が工業用水や生活用水、農業用水として利用されるようになるのは明治以降のことです。現在柿田川の水は、静岡県東部地域、3市2町の給水区域で飲料水として利用されています。

地域のくらしを支え、文化を育み続けてきた柿田川。このかけがえのない恵みに感謝しつつ、清水町の物語がこれからも紡がれていきます。

親子 Interview

清水町のイトコロ

Parent & Child interview: What's good about Shimizu Town

静岡県内でも住み心地のよいまちとして評価され、子育て支援が充実している清水町は、20~30代の転入が多くなっています。そんな清水町に、くらす子育て家族に「清水町のイトコロ」を聞いてみました!

生まれも育ちも清水町です!
落ち着いていて住みやすいし、
水はやっぱ美味しいですね。

綱島さん親子



2年前に移住しました。
生活に必要なもの全てが
小さなまちにそろっています!

國井さん親子



第5次

清水町

総合計画

ふるさとへの愛着と誇りを礎に、「くらしやすさ」に「層の磨きをかけ、これからの清水町を築いていきます。清水町のオンリーワンのかがやきを未来へ。」

5th Shimizu Town Comprehensive Plan

Building on the affinity and pride we feel for our hometown, we will further enhance the "livability" of Shimizu Town to make it an even better place to live. We will take Shimizu Town's unique brilliance with us into the future.

将来都市像

Vision for the Town's Future

くらしやすさで 未来をともにつくるまち・清水町

Shimizu Town: Building the Future through Livability

取り組み方針

Initiative policy

まちのみんなで取り組む

協働・協創

Collaboration & co-creation

さまざまな主体がともに行動し「協働・協創」によるまちづくりを進めます。

地域みんなで取り組む

地域連携

Regional cooperation

地域間連携への参画をさらに進め、周辺地域と一体となって地域力を高めます。

世界のみんなで取り組む

SDGs

Sustainable Development Goals

持続可能な世界を実現するための17のゴールの視点をまちづくりに取り入れます。

結び目をつなぐネットワーク

高域と町をつなぐネットワーク

大きな結び目 (コアゾーン)

小さな結び目 (地域拠点)

- 町のくらしを支える拠点を「結び目」として創る
- 結び目を「ネットワーク」でつなぎ、交流・一体感・活力を育む
- 都市の形を整え直すことで、将来に渡り持続可能な町を創り、「次世代への贈り物」とする

リボンシティ Reborn City

清水町の 県東部地域の
～結び目を創る～

清水町の
リボンシティって何？

基本目標 1

誰もがやすらぎと生きがいを感じる
「笑街健幸」のまちへ



鯉のぼりフェスタ

Carp Streamer Festival

青空に悠々と泳ぐ鯉のぼり。会場の狩野川ふれあい広場では、体験やチャレンジコーナーが開かれ、にぎわいを見せます。



心身ともに健康で幸せを感じられるくらしの実現を支援しています。健康づくりや予防に関する支援をはじめ、福祉の充実や、誰もがいつでも学びや文化活動を楽しめる環境づくりを進めています。

A town of "smiles, health, and happiness" where everyone can feel at ease and have a sense of purpose in life.

We will make it possible for people to live their lives in a way that they can feel happy and healthy both in body and mind. We provide support for health promotion and preventive care, enhance welfare, and create an environment where people can enjoy learning and cultural activities.

「笑街健幸」

街角に笑顔があふれ、住民がいつまでも健康で幸せにくらす様子を表現した造語です。



まほろばポタジェ (菜園)

Mahoroba Potagé (vegetable garden)

栽培から食べるまでの過程を親子で体験する食育農園事業です。まほろば館裏の畑で実施され、育てる野菜も参加者が決めます。



タブレット端末活用事業 (ICT教育の推進)

Efforts to promote the use of tablets (promotion of ICT-based education)

教育現場でのタブレット活用をはじめ施設や設備、教育機器などの整備を計画的に進めています。



子どもの成長や学びを
地域全体で支えるまちへ

基本目標 2



コンシェルジュ相談

Concierge consultation

子育てコンシェルジュが相談に応じて、子育て関連施設の利用方法、サービスなどを案内します。

安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに地域ぐるみで取り組んでいます。保育・教育体制の充実により、子育て世代の定住を促し、子どもの可能性を広げるまちづくりを進めています。

A town where the whole community supports children's growth and learning

We are working to create an environment where people can have children and raise them with peace of mind. By improving the childcare and education systems, we are making it possible for the child-rearing generation to settle here and create a community that expands their children's potential.

豊かな自然環境と地域の活力が
誇りを育むまちへ



清水町ボランティアガイドの会
Shimizu Town Volunteer Association

地域住民で構成されるボランティアガイドの会が観光案内を実施し、まちを訪れる観光客などに地域の魅力を広めています。



まちの活力と誇りを高めるまちづくりを進めています。柿田川をはじめとするかけがえない自然環境の魅力を守るとともに、その特長を生かした独自の産業振興や、情報発信を行っています。

A town with a rich natural environment and community vitality that foster a sense of pride

We are promoting community development that enhances the vitality and pride of our town. This includes preserving the charm of irreplaceable natural features such as the Kakita River, promoting our distinctive local industries, and disseminating information.



産業祭
Industry Festival

子どもを対象にした体験型のイベント。見て、触れて、学び、「産業の再発見」と「地域の活性化」を目的に開催しています。

持続可能で快適な暮らしを支える
都市基盤を備えるまちへ



ゆうすいくん号 (循環バス)
Yusuikun-go (loop bus)

清水町循環バス。病院や公共施設など生活に欠かせない施設を約1時間かけて巡ります。利便性の向上に取り組んでいます。



「くらしやすさ」の基盤の強化に取り組んでいます。公共交通機関の充実や道路整備によって、利便性の向上、適切な土地利用の推進、公園や下水道などの施設の維持や整備を進めています。

A town with infrastructure that supports sustainable and comfortable living

We are working to strengthen the foundations of "livability". This includes improving convenience by enhancing public transit and improving roads, promoting appropriate land use, and maintaining and improving public facilities such as parks and sewers.



柿田川みどりまつり
Kakita River Greenery Festival

花や緑で彩られた美しいまちづくりの一環として、清水町総合運動公園を会場に花苗などの展示即売、各種体験教室などを開催。

基本目標 5

自助・共助・公助の連携で
安全で安心してくらせる環境づくりを進めています。災害に強く、交通事故や犯罪のない社会のため「自助」「共助」「公助」の全てのレベルでの意識づくりと、連携の強化に取り組んでいます。



消防団の活動

Fire brigade activities

地域防災の担い手である消防団の活動環境の充実や資機材などの装備強化に取り組み、活動の活性化を推進しています。



安全で安心してくらせる環境づくりを進めています。災害に強く、交通事故や犯罪のない社会のため「自助」「共助」「公助」の全てのレベルでの意識づくりと、連携の強化に取り組んでいます。

A town with safety and security created through cooperation among self-help, mutual aid, and public support

We are working to create a safe and secure environment in our town. By creating awareness of self-help, mutual aid, and public support to strengthen support throughout the community, we can create a society that is resilient to disasters and free of traffic accidents and crime.



交通安全教室

Traffic safety workshop

幼少期から交通ルールを順守することの大切さを教え、誰でも安全に外出を楽しめるまちを目指しています。

基本目標 6

未来への責任あるまちへ



「協働」と「協創」、またさまざまな主体とのパートナーシップによって、効果的かつ効率的に施策に取り組んでいます。また、限られた財源の有効活用のため、行財政改革を進めています。

A town with a responsibility for the future

Through collaboration and co-creation, as well as partnerships with diverse entities, we are working on measures effectively and efficiently. Administrative and fiscal reforms are also being promoted so that we can make the best use of our limited financial resources.



ふるさと納税
広報写真撮影の様子

Hometown tax donation program PR photo shoot

寄付(ふるさと納税)への返礼品として特産品などを贈呈しています。寄付金はまちづくりの各分野に有効活用されています。



海外姉妹都市交流

Overseas sister city relationship

中学生が姉妹都市であるカナダのスコームッシュ市と交流しています。コロナ禍ではオンラインで実施されました。

年表

清水町 60年のあゆみ

昭和38年に誕生した清水町は、令和5年に60周年の節目を迎えます。まちは60年という還暦の年に立ち、心新たに未来へのあゆみを進めます。

昭和38年
(1963)
昭和39年
(1964)

11月3日 清水町制施行(人口12,379人)
3月 国道1号三島バイパス開通
3月21日 町議会、石油コンビナート進出反対を決議
10月1日 東海道新幹線(東京-新大阪)開業
10月10日 東京オリンピック開催(〜24日)
11月3日 町制施行1周年を記念して第一回町民体育大会開催

昭和40年
(1965)

3月31日 町道「久米田」的場線」完成
4月1日 町立清水北幼稚園開園
7月 町道「砂山線(伏見・柿田線)」完成(一部拡幅整備)
10月30日 町制施行2周年を記念して公募により「町章」制定

昭和41年
(1966)

11月 県営徳倉団地完成(造成工事完了)
8月1日 県造成の徳倉団地完成に伴い大字中徳倉が誕生
4月20日 町立清水保育所開所
10月23日 県立沼津商業高等学校、徳倉へ新築移転
1月26日 柿田川工業用水送水開始
4月1日 町立南小学校開校、町立清水南幼稚園開園

昭和42年
(1967)

4月25日 東海道新幹線三島駅開業

昭和43年
(1968)

5月26日 東名高速道路(東京-小牧)開通

昭和44年
(1969)

昭和60年
(1985)

8月6日 町制施行20周年を記念して第一回湧水まつり開催
4月17日 町立図書館「かわせみ」開館
7月22日 柿田川湧水群が「日本の名水百選」(環境庁当時)に選ばれる

昭和61年
(1986)

1月1日 柿田川湧水群が「静岡県の自然100選」(朝日新聞社・静岡県・静岡けんみんテレビ・財団法人森林文化協会主催)に選ばれる

昭和62年
(1987)

4月23日 柿田川公園オープン
8月5日 総合運動公園オープン
4月29日 3市5町(沼津・三島・裾野・清水・長泉・函南・伊豆長岡・韮山)の市外局番を0559に統一し市外局番が不要になる

平成元年
(1989)

1月8日 元号が「平成」になる
5月2日 清水町シルバー人材センター設立

平成2年
(1990)

3月26日 国道1号バイパス八幡立体交差開通

平成3年
(1991)

4月12日 町営住宅柿田団地完成
6月24日 温水プール「わくわく」オープン

平成5年
(1993)

3月24日 町営住宅外原団地完成
11月3日 町制施行30周年を記念して、町の鳥「かわせみ」(公募)を制定

平成6年
(1994)

10月18日 この年町制施行30周年を契機として町史編さん事業開始
清水町で第10回全国名水シンポジウムを開催



昭和45年(1970年)

徳倉橋歩道橋完成
Completion of the footbridge for Tokura Bridge



昭和40年(1965年)

町道「砂山線」完成
Completion of the town road, Sunayama Rd.

昭和45年
(1970)

2月 町人口2万人突破(男:9,639人 女:10,369人)

3月14日 万国博覧会、大阪で開催(9月13日)

4月 国道1号沼津バイパス(八幡・岡宮)開通/
徳倉橋歩道橋完成

昭和47年
(1972)

2月3日 札幌冬季オリンピック開催(13日)

11月7日 沼津卸商社センター完成

昭和48年
(1973)

4月1日 清水町社会福祉協議会発足

11月3日 町制施行10周年を記念して町の木「しい」
(町植林委員会)、町の花「ぎく」(公募を
制定)

11月13日 町立清水小学校開校(創立)100周年記
念式典開催

12月26日 横山トンネルが開通し清水町徳倉と沼津市
上香貫が直結

昭和49年
(1974)

4月1日 町立南保育所開所

7月2日 新柿田橋開通

7月7日 七夕豪雨により被害

4月1日 町立西小学校開校

昭和50年
(1975)

9月4日 町体育館完成

昭和51年
(1976)

11月8日 役場新庁舎完成/町制施行15周年を記念
して町民憲章と清水町歌を制定

昭和53年
(1978)

10月3日 全国(北海道、福井県、和歌山県、静岡県)
の清水町が姉妹縁組締結

昭和54年
(1979)

4月1日 町立南中学校開校

昭和55年
(1980)

9月1日 町営球技場(テニスコート、ゲートボール
コート)オープン

10月 町営球技場(野球場)オープン

昭和57年
(1982)

1月25日 玉井寺一里塚他5点を町指定文化財に認定

12月2日 町消防署庁舎完成

昭和58年
(1983)

1月1日 柿田川湧水群が「21世紀に残したい日本の
自然100選」(朝日新聞社・財)森林文化
協会主催)に選ばれる

3月1日 本城山公園オープン

平成8年
(1996)

2月19日 沼津市・清水町中核市推進協議会設立

3月22日 香貫大橋が開通し、清水町長沢と沼津市中
瀬町が直結

4月1日 町立清水西幼稚園開園

4月14日 狩野川ふれあい広場オープン

4月20日 柿田川みどりまつり開催(21日)

4月26日 町女性消防団「清風隊」結成

6月2日 1万人クリン作戦スタート

6月5日 住民基本台帳と外国人登録を合わせた人口
が3万人突破

平成9年
(1997)

1月12日 第1回清水町駅伝競走大会開催

4月23日 町道737号線(総合運動公園東側南北道)
開通

5月4日 鯉のぼりスポーツフェスタ開催

平成10年
(1998)

2月7日 長野冬季オリンピック開催(22日)

3月11日 町立清水中学校、南中学校に給食室完成
(4月から給食開始)

4月1日 沼津市と清水町で消防通信指令共同運用
開始

平成11年
(1999)

3月1日 特別養護老人ホーム「柿田川ホーム」開所

11月23日 第1回静岡県市町村対抗駅伝競走大会8
位入賞

平成12年
(2000)

4月21日 循環バス(清水・長泉循環、町内循環)運行
開始

平成15年
(2003)

9月18日 『清水町史』発刊完了

10月26日 第58回国民体育大会秋季大会ホッケー競技
(成年男女)開催(30日)

11月3日 町制施行40周年を記念してカナダ・スコ
ーミッシュ市と姉妹都市提携を結ぶ

12月15日 台湾・苗栗市と友好提携を結ぶ

平成16年
(2004)

2月8日 特別養護老人ホーム「かわせみ」、ケアハウス
「かわせみ」開所

3月25日 沼津市・清水町中核市推進協議会解散

平成18年
(2006)

4月3日 清水町防災センターオープン



昭和53年(1978年)

役場新庁舎落成式

Completion ceremony for
the new Town Hall Government Office.



平成3年(1991年)

温水プール「わくわく」オープン

Opening of the "Waku-Waku" heated swimming pool

Chronology: 60 Years of Shimizu Town

Shimizu Town, founded in 1963, will
celebrate its 60th anniversary in 2023.
As the town celebrates its 60th birthday,
we move forward together with a
renewed mindset.

清水町 60年のあゆみ

平成19年 (2007)	11月1日	子育て総合支援センターオープン
平成20年 (2008)	9月19日	こども交流館オープン
平成21年 (2009)	10月10日	地域交流センターオープン
平成22年 (2010)	10月15日	清水町出身の絵本作家、宮西達也さんを初のふるさと大使に
平成23年 (2011)	9月21日	柿田川が国の天然記念物に指定される
平成24年 (2012)	4月15日	県道原木沼津線バイパスが開通し清水町徳倉と沼津市大平が直結
平成25年 (2013)	8月5日	佐藤悠基選手(下徳倉出身 日清食品グループに当時所属)ロンドンオリンピック男子10、000m決勝出場
平成26年 (2014)	4月1日	恵明キッズローズピレッジ開園
	5月11日	絵本作家宮西達也さんによる町のイメージキャラクター「ゆうすいくん」誕生
	6月22日	富士山が世界文化遺産に登録される
	4月1日	すこやか保育園開園
	9月6日	町イメージキャラクター「ゆうすいくん」の絵本発売
	3月31日	西間門新谷線(町道3号線)久米田地先開通
平成27年 (2015)	7月10日	選挙権年齢が18歳となり町内で初の選挙実施(第24回参議院議員通常選挙)
平成28年 (2016)	10月2日	地域通貫「ゆうすいポイント」スタート
	4月5日	柿田川公園連絡通路「湧歩橋」開通式
	4月10日	子育て総合支援センターが累計利用者50万人を達成
平成30年 (2018)	4月17日	伊豆半島ジオパークがユネスコ世界ジオパークに認定される。清水町内のジオサイトは丸池、柿田川、本城山の3カ所
	6月28日	嘉島町(熊本県)と災害時相互応援協定を締結



令和元年(2019年)

第20回静岡県市町対抗駅伝町の部初優勝

Winning the Town Division for the first time at the 20th Shizuoka Prefecture Intercity Ekiden Race



平成21年(2009年)

地域交流センターオープン

Opening of Community Exchange Center



平成19年(2007年)

子育て総合支援センターオープン

Opening of Child-Raising Total Support Center

History and Cultural Heritage: Imprints of the Flow of Time

The land of Shimizu has long been used by people because of its abundant water supply and favorable geographical conditions. This land is imprinted with the history of the lives our ancestors led here.

しょうやとう 常夜燈(新宿) All-Night Street Lantern (Shinshuku)

1846年に建てられました。両側に秋葉大権現と富士浅間宮という火を鎮める神の名前が刻まれており、当時の村人たちが防災の願いを込めて造ったとされています。



せんがんどうい 千貫樋 Sengan Water Pipe

現在の三島市から清水町の水田まで水を送るために架けられた樋。1555年の建造といわれ、関東大震災前までは木製でした。名前の由来は「銭千貫」に値するほどからなど諸説あります。

歴史・文化財
流れる時を
此処に刻む

豊かな水源とその地の利から
人々の営みが繰り返されてきた清水の地。
大地には先人たちの生きた証が
刻み込まれています。

- 令和5年(2023)
 - 11月3日 町制施行60周年記念式典開催
 - 10月1日 笑街健幸バスポート事業開始
 - 4月1日 鈴木香里武さん、石垣幸二さん、峯水亮さんをふるさと大使に任命
 - 3月31日 野毛伸子さんをふるさと大使に任命
 - 1月4日 賀詞交歓会で町制施行60周年記念イラストを発表
- 令和4年(2022)
 - 12月3日 第23回静岡県市町対抗駅伝 町の部優勝(2年ぶり3回目)
 - 11月30日 まち歩きアプリ「PLUS-Walk清水町」配信開始
 - 4月1日 健康スポーツの駅開設
 - 12月4日 第22回静岡県市町対抗駅伝 町の部準優勝
 - 7月23日 東京2020オリンピック・パラリンピック開催(8月8日)
 - 7月3日 7月豪雨で黄瀬川大橋の橋脚の一部が沈下
 - 4月17日 図書館・保健センター複合施設 来館者10万人達成
 - 4月1日 図書館・保健センター複合施設 まほろば館の支払いが可能に
 - 3月25日 丸池連絡橋開通
 - 3月16日 ことも交流館移転 リニューアルオープン
 - 12月1日 防災アプリ提供開始
- 令和3年(2021)
 - 12月5日 第21回静岡県市町対抗駅伝 町の部優勝(連覇)
 - 11月30日 第20回静岡県市町対抗駅伝 町の部初優勝
 - 7月15日 図書館・保健センター複合施設まほろば館オープン
- 令和2年(2020)
 - 10月1日 消費税が10%になる
 - 8月1日 母子手帳アプリ「みんなであいっしょに」の提供スタート
 - 5月1日 元号が「令和」になる
 - 1月13日 丸池公園オープン
 - 11月22日 「ゆうすいくん」オリジナル婚姻届配布開始
 - 11月17日 南小学校創立50周年
- 平成31年(2019)
 - 令和元年(2019)



令和5年(2023年)
60周年記念イラスト
Shimizu Town 60th Anniversary
Commemorative Illustration



令和3年(2021年)
丸池連絡橋開通
Opening of Maru Pond Connecting Bridge



令和2年(2020年)
まほろば館オープン
Opening of Mahorobakan

とう かい どう まつ なみ き
東海道松並木
Tokaido Avenue of Pine Trees

長沢の静岡医療センター入口付近から黄瀬川橋にかけて、旧東海道の面影を残す松並木を見ることができます。1604年江戸幕府が諸国街道の大改修を行った際に植えたとされています。

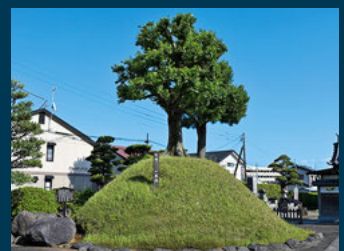


やはた じん じゃ たい めん せき
八幡神社・対面石
Yahata Shrine, Facing Stone

祭神は応神天皇、比売神・神巧皇后を祀る神社。境内の北隅にある対面石は、源頼朝と源義経が対面した時に腰掛けたものと伝えられています。石のそばには、頼朝が捨てた種が芽を出し成長したとされるねじり柿があります。

いち り づか
一里塚(玉井寺・宝池寺)
Milestone (Gyokusei Temple, Houchi Temple)

日本橋から出発して29里目の一里塚が玉井寺と宝池寺の境内に残されています。街道の両側に設置された塚で「伏見一里塚」と呼ばれています。





清水町 町制施行60周年記念町勢要覧

発行年月：令和5(2023)年11月

発行：静岡県清水町

〒411-8650 静岡県駿東郡清水町堂庭210-1

TEL:055-981-8234 FAX:055-973-1711

<https://www.town.shimizu.shizuoka.jp>

Shimizu Town 60th Anniversary Commemorative Informational Guide

Published by Shimizu Town / November 2023

Post Number: 411-8650

Address: 210-1 Doniwa, Shimizu Town,
Sunto District, Shizuoka



本紙は環境に配慮した
ベジタブルインキを
使用しています。